

(様式2)

「秋田大学学生海外派遣支援事業」 帰国報告書

記入日：2017年1月20日

所属：教育文化学 学部／研究科 地域文化 学科・課程・選修／専攻 3年

氏名：伊藤久代

派遣先大学名(国)：圓光大学校(大韓民国)

在籍身分：交換留学生

派遣期間：10か月

渡航年月日：2016年2月24日

帰国年月日：2016年12月24日

○派遣先大学における授業等の履修状況

2016年1学期(3月～6月)

※1コマ50分

講義名	講義時間(回/週)	修得単位数
진로탐색과설계(進路探索と設計)	2	2
종합한국어2(総合韓国語)	3	3
여행한국어(旅行韓国語)	3	3
한국어독해(韓国語読解)	2	2
한국어언어학(韓国語言語学)	2	2
경제무역한국어(經濟貿易韓国語)	2	2
실용응용문(実用応用文)	2	2
한국문화작품선독(韓国文化作品選択読解)	2	2

2016年2学期(9月～12月)

講義名	講義時間(回/週)	修得単位数
시청각한국어(視聴覚韓国語)	3	3
컴퓨터활용한국어(コンピューター活用韓国語)	2	2
한국어작문(韓国語作文)	3	3
한국경제개황(韓国經濟概況)	2	2
한국어회화(韓国語会話)	3	3
종합한국어(総合韓国語)	3	3
한국개황(韓国概況)	2	2

○研究・学習概要及び今後の勉学計画

私を含む交換留学生は、中国学科の中にある交換留学生専用の授業を履修することになっており、中国やベトナムから来たほかの留学生たちと一緒に授業を受けました。授業では1学期、2学期ともに韓国語をはじめ韓国の文化や歴史、経済など、広範囲にわたって学ぶことができました。どの授業も親切で面白い先生が多く、私たち留学生に韓国を知ってほしいという気持ちが大いに伝わってきました。内容も新鮮で、韓国を知る上でとてもためになる授業ばかりでした。中には近くの公園へ行き野外学習をしたり、グループを作って地図や動画を作ったりとアクティブなものもあり、他の留学生と親しくなるきっかけにもなりました。最初の頃は先生方の言っていることが所々しか理解できず、聞き取るのに苦労しましたが、分からない単語や文法は、すかさずメモをして寮に帰ってから調べ直したりして勉強をしました。また、夏休みの期間を利用して、圓光大学校の中にある語学堂にも2か月間通いました。そこでは専用のテキストを使った本格的な文法の授業を受けました。私は最上級の5級クラスだったのですが、内容が難しく毎日予習復習に追われて大変でした。しかし必死に勉強した甲斐もあり、修了式では成績優秀賞をもらうことができました。夏休みを経て2学期では韓国語を無理なく聞き取れるようになり、授業を楽しく聞くことができました。

この留学生活で培った韓国語を衰えさせることなく、引き続き勉強を続けていきたいです。まずは目前に迫っている韓国語能力試験で、最上級である6級の取得を目指したいです。また、留学での経験を卒業論文や就職にも生かしていきたいと思います。



○5月に市内の小学校で日本文化を紹介する授業の機会をいただきました



○野外学習でほかの留学生たちと
(本人：中央)



○大学祭 in 運動場

夕方から始まり、SISTER、AileeなどのK-popスターが公演。テントの下でもお酒を飲んで盛り上がっていました。

○生活面について

私の住んでいた寮は、GLOBAL EXCHANGE CENTER という留学生寮でした。新設されてから1か月も経っておらず、私たちが最初の寮生だったため、とてもきれいでした。1階にはコンビニやホール、自由に勉強できるセミナー室があり、各階には料理のできる休憩室がそれぞれ設置されています。そして部屋にはベッドと机、クローゼットと共にトイレとシャワーも併設されています。日本人留学生は私の他にも2人いて、1学期はそのうちの1人と同じ部屋に振り分けられました。最初は同じ国ということで安心感がありましたが、これでは留学の意味がないと思うようになり、2学期では寮の管理者に直接頼んで中国人の留学生と一緒に部屋にしてもらいました。中国人のルームメイトはとても明るく優しい子で、生活習慣には少し違いがありましたがお互い譲歩し合い、仲良く過ごすことができました。ルームメイトと夜遅くまでお互いの国について話したり、休憩室で一緒にご飯を作って食べた時間は私にとってとても大切な思い出です。



○寮の内装



○休憩室で友人のお別れパーティー

学生食堂のご飯は、特に問題なくおいしく食べられました。もちろん最初は日本の料理と違う味付けに戸惑いましたが、すぐに慣れ毎日食堂に行くのが楽しみでした。また、寮から歩いて15分ほどのところに대학로 (テハンノ) という学生街のような通りがあるのですが、週末になると友人たちとそこでおいしいご飯を食べたり、お酒を飲みに行ったりもしました。本場で食べる韓国料理はとてもおいしかったです。個人的にはチメク (チキン+メクチュ←ビール) やサムギョプサルがとても好きでした。また、不思議なことに韓国はカフェの数がとても多いです。カフェの隣にカフェ、その向かいにもカフェ、と日本のコンビニ率よりも多かったと思います。その上おしゃれで価格も安いので(約200円ほど)、대학로는もちろん、他の都市に旅行に行く度にカフェ巡りもしました。



○サムギョプサルの食べ放題

○その他留学全般にわたる感想

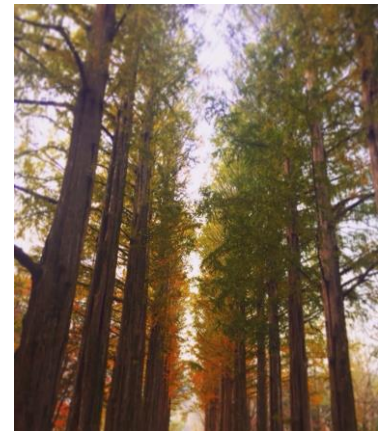
秋田大学で2年間韓国語を勉強したとは言え、やはり実際韓国に行ってみると全く話せず最初はとても苦労しました。ですが、毎日地道に勉強したことによってだんだんと実力がついてきたことを肌で感じました。自信がついたことによって2学期からはサークル活動にも積極的に参加し、そこで多くの韓国人の友人を作ることができました。



○サークルのMTでサバイバル体験 ファイティン!

同じ世代である韓国の学生が考えていることや、勉強への強い姿勢について見習う部分が多く、良い刺激をたくさん受けました。日本を好きな人も想像以上に多く、アニメや漫画が日本の誇れる文化なのだと実感し、韓国だけでなく日本について改めて考えさせられる機会も多々ありました。

また、韓国は交通費がとても安く、休みの日にはあちこちに旅行にも行きました。首都のソウル以外にも魅力的な都市はたくさんあり、土地ならではの雰囲気や人の親切さに触れ、日本にいた頃よりも更に韓国が好きになりました。



○「冬のソナタ」の撮影地

紅葉が素敵な南怡島の並木道

不安だらけでスタートした留学生活でしたが、帰国直前には「帰りたくない」「ずっと益山にいたい」という気持ちだけでした。それぐらいこの留学生活で良い経験をし、良い友人に出会い、素晴らしい思い出を作ることができたからだと確信しています。思えば韓国語や韓国の文化を学ぶことが留学当初の目的でしたが、留学生活を終えてみるとそれ以上のものを得られた気がします。韓国人の友人ができたのはもちろんですが、中国、ベトナム、モンゴルなど、自分の今までの人生で関わったことのない国の人とも出会い、その国について知り興味を持つようにもなりました。様々な価値観に触れ、自身の視野を広げることができたと実感しています。この留学生活で出会った人たちとの縁を大切に、これからもお互いに連絡し合う関係を続けていきたいと思えます。



最後に留学の支援をしてくださった秋田大学国際課、圓光大学校の国際交流チームの皆さん、家族や友人に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。